

**製品名: アセチルヒストン H2B(Lys16)ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe84169**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	アセチル化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	14 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Histone H2B(acetylK16)
別名	Histone H2B type 1-H; Histone H2B.j; H2B/j; HIST1H2BH; H2BFJ;;Acetyl-Histone H2B type 2E (K16)
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q16778
免疫原	K16 のアセチル化部位周辺のヒトヒストン H2B タイプ 2E 由来の合成ペプチド

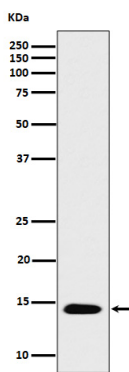
**背景**

ヌクレオソームの中核構成要素。ヌクレオソームはDNAをクロマチンに包み込み、DNAを鋳型として利用する細胞機構へのDNAのアクセスを制限します。そのため、ヒストンは転写制御、DNA修復、DNA複製、そして染色体の安定性において中心的な役割を果たします。DNAへのアクセスは、ヒストンの複雑な翻訳後修飾（ヒストンコードとも呼ばれます）とヌクレオソームリモデリングによって制御されています。

## 研究分野

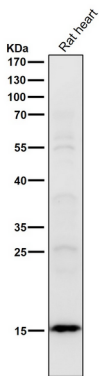
-

## 画像データ



トリコスタチン A 細胞溶解物で処理した HeLa 細胞におけるヒストン H2B (アセチル K16) 発現のウェスタン プロット分析。

すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。

